

元ちゃんの

自宅で旧暦時間!

今年の天気「冬」

旧暦：神無月一日～師走三十日 新暦：令和4年10月25日～令和5年1月21日

1. 元ちゃんの旧暦予想「冬」

冬寂短想 (早めに過ぎ去り寂さ短い冬)



冬は新暦10月25日から。季節は足早に訪れ、足早に去っていきそうです。新暦11月下旬頃から本格的な冬の訪れとなりそうです。新暦年末は寒くなりそうですよ。一方、2023年の新暦正月は晩冬にあたり、もちろん寒いですが、ひょっとしたら春の足音が聞こえるかもしれません。なお、大雪にはご注意ください。

山里は 冬ぞ寂しさ まさりける
人目も草も かれぬと思えば (源宗子(みなもとのむねゆき))

(写真:旧暦 師走二日 人参と大根の糠漬け<新暦12月24日>)

2. 今年の「冬」

季節事象	観測日(新暦)	観測日(旧暦)	平年差
カエデ紅葉(銚子)	12/15	霜月廿二日	+3
初霜(銚子)	12/16	霜月廿三日	-
初氷(銚子)	12/18	霜月廿五日	-5
梅開化(東京)	2023/1/21	師走三十日	-1
(初雪(銚子))	(2023/1/24)	(睦月三日)	(+19)

平年差：+<遅い> -<早い>

【気象官署の季節観測】

今年の旧暦上の冬は新暦10月25日からです。新暦10月下旬頃より寒くなり、各地で平年を下回る気温となりました。予想通り早目の冬入りといったところでしょうか。一方、新暦11月は全国的に暖かくなりました。特に東日本では、1946年の統計開始以降、新暦11月として最も高温となったようです。ところが、新暦12月、入ると同時に急に寒くなりましたね。「新暦11月下旬頃から本格的な冬の訪れとなりそうです」と予想していましたが、ほぼその通りとなりました。そして中旬以降、強い寒気の影響で、各地で積雪量が一気に増えました。新暦2023年1月中旬は暖かく、それこそ春の足音が聞こえそうだったのですが、下旬以降冬の気圧配置が強まり、日本海側を中心に太平洋側の一部でも交通機関等に影響が出るような大雪となった所がありました。「豪雪注意の冬」との予想的中!

3. 元ちゃんの「冬」



皆既月食
霜月十五日(4/11/8)



御岳溪谷の紅葉
霜月廿日(4/11/13)



京都:東福寺の紅葉
霜月廿六日(4/11/19)



新暦元旦の初日の出
師走十日(5/1/1)

4. 元ちゃんの旧暦予想「春」 新暦5.1.22~5.5.19

早長春曙 (早く始まり長い春。曙が素晴らしい)



令和五年の春節(旧暦元旦)は新暦1月22日。少し早めの春入りと予想します。そして本年の一番のポイントは春に閏二月が入ること。この影響で春は長くなるでしょう。花見も長く楽しめるかも。梅、桜の開花は早く、桃は若干遅れての開化と予想します。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。(以下、枕草子 第一段)